

國學院大學久我山中学高等学校女声合唱部  
(旧中学校音楽部)

2024  
Our Thanks Concert  
Vol.17

《演奏曲目》

Folk Mass より Sanctus (Jekabsone Laura 作曲)

Prayer of St. Francis (平和を求める祈り)  
(Sbastian Temple 作曲 横山 潤子 編曲)

くちびるに歌を (信長 貴富 曲)

ぜんぶ (さくらももこ 作詞 相澤 直人 作曲)

ともだちおんがく (覚和歌子 作詞 横山 潤子 作曲)



あなたか歌えと命じる時に

(Rabindranath Tagore 詩 山室 静 訳詞 高嶋 みどり 曲)

ねんね根来の (松下 耕 曲)

(本年度全日本合唱コンクール課題曲)

女声合唱とピアノのための「さんぼうげの日々」より

ねぼすけぼうず

(Walter de la Mare 詩 吉田 映子 訳詩 横山 潤子 作曲)

(本年度全日本合唱コンクール自由曲)

他

合唱 國學院大學久我山中学高等学校女声合唱部

指揮 宮崎 直子

ピアノ 栗原 正和

2024. 2. 21 (水) 18:00 開演 (17:30 開場)

小金井 宮地楽器ホール 大ホール 入場無料

JR 武蔵小金井駅 南口下車 徒歩1分

令和 5 年度 主な活動報告

第 78 回 東京都合唱祭 (主催:東京都合唱連盟) (7/17) (第一生命ホール)

第 78 回 東京都合唱コンクール(全日本合唱コンクール東京支部大会) (主催:東京都合唱連盟)  
高等学校の部 Aグループ 金賞 及び 審査員特別賞 (9/3) (文京シビックホール 大ホール)

栗原正和ピアノリサイタル サプライズ出演 (主催:MK Pro) (ハクジュホール)

文化祭ミニコンサート (10/28&29) (本校 文科会館 内 第一音楽室)

久我山団地の方々のための クリスマスミニコンサート (12/21) (本校 文科会館 内 第一音楽室)

東京 春のコーラスコンテスト 2024 (主催:東京都合唱連盟) ユース・女声合唱の部 (2/12) 参加予定 (第一生命ホール)

主 催 國學院大學久我山中学高等学校女声合唱部  
お問い合わせ 國學院大學久我山中学高等学校 03(3334)1151(代)

女声合唱部 顧問 濱

## 《國學院大學久我山中学高等学校女声合唱部》 プロフィール

「國學院大學久我山中学高等学校女声合唱部」は、H16年度より宮崎直子が指導にあたってきた「中学音楽部」が、H26年度、高校生を加える形で発展したものである。

前身の「中学音楽部」時代には、全日本合唱コンクール全国大会金賞 (H19, 20, 23)、NHK 全国学校音楽コンクール 関東甲信越ブロック銅賞 (H18, 20)、東京ヴォーカルアンサンブルコンテスト (6年連続中学部門1位金)、春のコーラスコンテスト (中学部門1位&東京都教育委員会賞=中学部門最優秀)、第5回コチャールコンクール (H20) グランプリ等を受賞。高校生が入部して女声合唱部となった2年目から2年連続で、中学生部員が過半数の構成ながら全日本合唱コンクール全国大会高校 A グループの部銅賞 (H27:埼玉、H28:香川)、初めてエントリーした東京国際合唱コンクール室内合唱の部は銀賞1位 (R2)。本年度の東京都合唱コンクールは、例年の金賞と併せて「中高全団体の中で最も印象に残った演奏」として審査員特別賞を受賞した。一方、中学音楽部時代より海外の合唱団の来日公演にも出演しており、プロムジカ女声合唱団、カンテムス少女合唱団、バンキエツリシンガーズ (いずれもハンガリー)、ソフィア少年少女合唱団 (ブルガリア) の来日歓迎演奏、テルツ少年合唱団 (ドイツ) の来日公演や兵庫稲美少年少女合唱団との共演等、国内外の合唱団との共演も多い。本校主催の行事では、創立70周年記念演奏会 (H26) で東儀秀樹氏と、また、芸術鑑賞会 (H30) では「くるみ割り人形」を東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団と共演、NBAバレエ団からの依頼により「くるみ割り人形」公演で「雪片のワルツの合唱」を演奏 (R1)。また、警視庁主催イベントをはじめとした各方面や国内の合唱団からの依頼で、チャリティーやジョイントコンサートにも出演。《Our Thanks Concert》を毎年度末に1年間の活動の集大成として開催することを活動の軸としている。コロナ蔓延防止の為にこの3年間は中止を余儀なくされてきたが、昨年度再開、本年度はR6. 2. 21 (水) 小金井 宮地楽器ホールで開催予定である。

レパートリーは宗教曲からポップスに至る迄幅広く、ハーモニーの美しさと丁寧な音楽作りは 中学音楽部時代より高く評価されている。世界的合唱指導者のデーネシュ・サボー氏から「日本では殆ど耳にしない清潔な音楽」と、また、作曲家のコチャール氏からは「作曲家の意向を忠実に音楽にする合唱団」と絶賛され、国内外の諸氏からの賞賛、取材を受ける等、その活躍は常に注目を集めてきた。

しかし、活動方針はあくまでも音楽的な技術の向上ではなく、すべてにおいて、より鋭い感性を磨き、将来に生かせる基礎力をしっかり身に付けることに重きを置いている。音楽を通して、心の力と生きる力を身につけ、美しい音と共に魂を揺さぶる演奏ができることを目標に、いつも楽しく明るい雰囲気の中、学業との両立をはかりながら活動している。ここ数年間にわたる活動停止や、それに伴う殆どの部員の引退等の困難があり、昨夏からやっと本来の週4日の活動に戻ったことで、「新生女声合唱部」ともいえる姿を見せられるようになってきた。

## 《宮崎 直子 プロフィール》

国立音楽大学音楽学部声楽科卒。声楽を藤井典明、伊藤京子の各氏に、合唱指導を佐藤公孝氏、ピアノを竹島悠紀子、青木紀久子の両氏に師事。大学在学中より合唱及び声楽のピアニストや合唱指導を始める。指揮者のクリストファー・ホグウッド、若杉 弘、演出家ミヒャエル・ハンベ諸氏が国立音楽大学合唱団と演奏した際の練習ピアニストや、NHK全国学校音楽コンクール全国大会金賞を数年連続して受賞した暁星小学校聖歌隊のピアニストも勤める。また、全日本合唱コンクール全国大会金賞校等に、合唱指導やヴォイストレーナーとして携わった経験も持つ。

当校には、平成6年度より芸術科非常勤講師として勤務。同校音楽部コーチとしては平成6年度より9年度迄、中学、高校両音楽部に主にピアニストとして携わっていた。平成16年度、学校の方針により中学音楽部の活動が高校から独立するにあたり全面的な指導に就き、現在に至る。

本校外に於いては、昭和女子大学附属昭和中学校高等学校非常勤講師、合唱指導者、ヴォイストレーナー、合唱及び声楽ピアニスト等、幅広く活動している。

## 《栗原 正和 プロフィール》

玉川大学工学部電子工学科卒業。(株)富士通ゼネラルでのエンジニア、ピアノ調律師を経てピアニストに転身。

第2回日本クラシック音楽コンクール特別賞及び安藤賞受賞。世界の名器による音の響宴 (名古屋/ザ・コンサートホール) に全国オーディションにより選出され出演。第3回 P. I. A. Japan ピアノコンクール広岡淑生賞受賞。4枚のCDをリリースするほか、合唱作品 (教育芸術社) や室内楽作品、声楽家のアルバムにも参加。NHK-FM「ベストオブクラシック」やBSプレミアム「クラシック倶楽部」など、ラジオ、テレビに出演。また、YouTubeチャンネルに於いても、演奏動画やインタビューなどを公開している。リサイタルなど、ソロ活動の他、声楽の伴奏や室内楽においてもその才能を高く評価され、著名演奏家の信頼も厚い。コンサートでは演奏曲目の解説など、わかりやすく軽妙なトークも人気を博し、多くのファンを獲得している。

中学校音楽部には平成19年度から勤務。指揮者とは高校時代の部活動において先輩後輩の関係にあたる。ピアノテクニックのみならず、豊かな感性とわかりやすい指導で、音楽面、精神面ともに、部員にとってかけがえのない存在となっている。当部の成長は、中学音楽部時代から当部に大きく貢献している彼の指導力のなせるところも大きい。

栗原正和 公式HP:「ピアニストの部屋」<https://www.ne.jp/asahi/pf/kuri/>